

ながぬま



MORE ベジット 設立総会

～ながぬまの野菜は次のステージへ～

青果物生産組織再編に伴う新組織 MOREベジット設立総会開催

3月4日、JAながめま大会議室にて旧園芸連を母体とする新組織「MOREベジット」の設立総会が開催されました。

この度の青果物生産組織再編は、半世紀以上に渡る生産組織の活動について現状にあった活動への見直しと生産者及び職員の負担軽減、またさらなる収益向上に向けての主な目的として令和6年6月より各生産組織に対し説明を行い取り進めてまいりました。



再編の内容としては、「生食を主とした販売青果物」を扱う生産組織を対象とし旧園芸連に属する組織とこれまで独立組織として活動しておりまして長沼町玉葱生産組合及びホクレンシヨップ直売部会

それぞれが、一度これまででの体制に区切りをもって新たな連合組織を設立するということものであり、本年1月から2月上旬に行われた対象となる全ての生産組織の総会において本件が承認されこの日の設立総会に至りました。

総会では、来賓を代表して柴田代表理事組合長と塩浜副町長より挨拶を賜り、新組織設立実行委員会の坪井委員長より経過説明を行った後に議案審議に入りました。
提出された議案①規約の設定、②役員を選任、③令和7年度の事業計画及び収支予算案が全て承認され、あわせて新たな活動に先立って使用



される新組織のロゴマークが発表されました。
青果物の販売環境では、全国的な生産量減による供給不足と需要増により過去から比較してその需給バランスに大きな変化

が起こり始めております。
今回の新組織設立では現状を整理し、生産者が未来に向けて今以上にもっと希望の持てる体制づくりと、今以上の所得環境を実現する仕組みづくりを主

に進めてまいります。
この後、

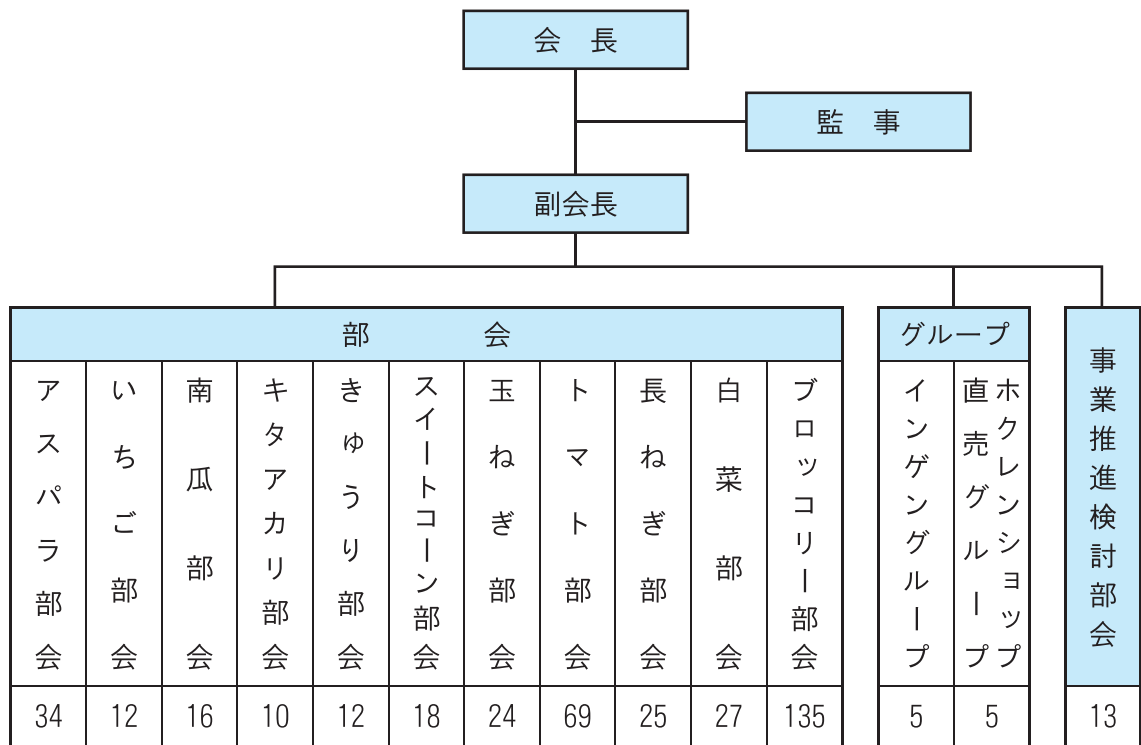
全国の取引先に設立経過の説明を行うなど新たなスタートを切ってまいります。



令和7年度 MOREベジット役員

顧問	川 浦 良 一		荒 井 利 夫
役 職	氏 名	備 考	
会 長	坪 井 裕 一	21区	
副会長	細 川 隆 幸	21区	
副会長	巻 祥 之	8区	
監 事	熊 谷 和 夫	30区	
監 事	高 橋 博 樹	27区	
監 事	高 木 篤 志	6区 アスパラ部会	
理 事	高 橋 勝 彦	21区 いちご部会	
理 事	寺 崎 証 也	18区 南瓜部会	
理 事	阿 達 昌 之	18区 キタアカリ部会	
理 事	上 野 浩 幸	2区 きゅうり部会	
理 事	岸 裕 恭	22区 スイートコーン部会	
理 事	真 田 隆 弘	7区 玉ねぎ部会	
理 事	秋 葉 信 勝	18区 トマト部会	
理 事	間 嶋 良 春	29区 長ねぎ部会	
理 事	田 邊 淳	24区 白菜部会	
理 事	八 木 貴 紀	24区 ブロッコリー部会	
理 事	五十嵐 和 博	16区 事業推進検討部会	

MOREベジット 機構図



会議体制

総 会	役員・会員
役員会	会長・副会長・監事・理事

理事～各部会部会長



第42回通常総会

小麦採種組合 第42回通常総会

2月25日、農協本所2階第1会議室にて小麦採種組合 第42回通常総会が開催されました。総会では令和6年度事業報告、収支決算報告、令和7年度事業計画、収支予算が協議され、全議案承認されました。本年度も採種事業では、関係機関と連携し、ほ場巡回調査、講習会、ほ場審査等を実施し、良質な種子小麦の栽培・生産に努めてまいります。



講習会

2月28日、農協本所2階第1会議室にて長沼町甜菜振興協議会 第45回通常総会が開催されました。総会では令和6年度事業報告、収支決算報告、令和7年度事業計画、収支予算が協議され、全議案承認されました。

長沼町甜菜振興協議会 第45回通常総会



第45回通常総会

また、総会開催前には講習会が開かれ、日本甜菜製糖株式会社がより栽培技術についての説明と、サークル機工株式会社より農業機械の説明があり、大変有意義な研修会となりました。



2泊3日の日程で年金友の会温泉湯治旅行を行いました。参加者28名でゆっくり温泉に入りながら日頃の疲れを癒やし、会員相互の親睦が一層深まりました。

ながぬま農協年金友の会 温泉湯治旅行

登別万世閣にて3月12日～14日、



● 組織名「MORE ベジット」の由来

現状を鑑みてこれから目指す産地の在り方に進む願いを込めた名称。テーマとして

- | | |
|-------------|---------------------|
| ① 必要とされる産地 | その時々需要にもっと答えられる産地 |
| ② 今後も拡大を続ける | 必要とされる野菜を生産し続けられる産地 |
| ③ 高品質安定供給 | 品質の伴った野菜をもっと届けられる産地 |
| ④ 生産者の未来 | 野菜でもっと明るい未来を創造する |

これらの概念が「もっと拡大していく」という趣旨の「more and more」を基に「more」「野菜 ベジタブル」「もっと」の単語を組み合わせた名称。

● ロゴマークのコンセプト

- ・家紋の様な重厚感と日本らしさを意識し未永く廃れない強さを表現。
- ・ありきたり感を払拭する意識と同時にベースカラーには人類最古の染料色とされる「藍色」を用いて産地の歴史を継承していくという思いも込めている。
- ・「べ」の反転組合せにより、「野菜八百屋」の「八」を思わせ組織名の頭文字である「M」さらにはブランドロゴを出荷容器に入れてのスタートは、現在のところ令和8年を予定していることから、そのスタートを切る「八年」も意識したデザイン。

子実用ともしこし研究会 定期総会

3月14日、JAながめま第1会議室にて子実用ともしこし研究会の定期総会が行なわれました。

設立初年度となる総会では令和6年度事業報告並びに収支決算報告、令和7年度事業計画並びに収支予算について協議され全議案が承認されました。

総会終了後に生産者意見交換会を開催し、生産者に提出いただいた質問に対して役員が回答・情報提供を行い、今年の作付に向けた有意義な意見交換を実施しております。



地熱育苗センター 令和7年度 トマト鉢上げ作業

3月17日、地熱育苗センターにおいて一次苗トマトの鉢上げ作業が行われました。

セル苗約30,000本を鉢上げし6月下旬から始まる共選出荷に向けてのスタートを切り、過去最高であった昨年産を上回るようお願いを込めて作業が行われました。

昨年は春先から生育・着花がスムーズとなり平年作を上回りましたが、トマトキバガの発生・被害が確認されたため今年度以降の課題となりました。

今後、4月下旬には二次苗の鉢上げ作業と今回鉢上げた一時苗の定植に向けた配布を予定しております。



鉢上げ作業



土詰め作業

グリーンパートナー 会員募集

JAながめまグリーンパートナー実行委員会では、パートナー探しのきっかけを作る企画として、交流会の開催や婚活に関する情報提供を行っています。まだ会員登録されていない方は、当実行委員会へ会員登録し出合いの場へ参加してはいかがでしょうか。きっと素敵な出会いがあるはずです。

農業者・農業後継者の女性会員も募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

グリーンパートナー実行委員会

事務局 経営相談課

担当 高瀬・三上

TEL8812229

青年部役員道外視察研修

3月11日～13日、青年部では役員道外視察研修を実施し、東京都のホクレン東京支店、茨木



ホクレン東京支店

県にある有限会社ソメノグリーンファーム・クボタ筑波工場を視察しました。

東京都千代田にあるホクレン東京支店では、役員内で作付けしている野菜の消費地・産地情勢について説明を受け、今後の野菜の情勢について意見交換をしたのち、東京都内のスーパーを視察しました。

茨木県坂東市にある有限会社ソメノグリーンファームでは、水稲・麦を中心に約140haを作付し土づくりを優先した有機物循環農法を実践しており、今後の営農に生かせる作付け方法などを染野社長



有限会社ソメノグリーンファーム

からお話いただいたのち、常温保存可能で長期保存が可能な冬眠米の製造場所や納屋などを視察しました。

茨木県つくばみらい市にあるクボタ筑波工場では、最初に筑波工場の概要を説明していただいたのち、実際に工場内を見学し、トラクターなどの農業機械の製造ラインを視察しました。



クボタ筑波工場

女性部活動報告

◆ライラック部会

ライラック部会では2月にビーズで「ダイヤモンドアート」3月に「陶芸」を行いました。ダイヤモンドアートは絵柄付の土台にビーズを張付けます、色々な絵柄の作品ができました。陶芸は江別アトリエ陶にて行いました。作業工程を学び、作成します。うまくできない所は先生に仕上げていただきました。焼き上がりを楽しみました。



◆なないろスプーン部会

なないろスプーン部会では11月～3月の間で計4回、職員向けの食堂を開きました。温かい食事、ながめま産の食材を使った手料理を食べていただくことができました。職員の皆さんから「おいしい」言ってもらえて、部員もとてもやりがいを感じています。



◆「ボッチャ体験」

ひまわり部会とフレミズ部会では2月と3月にそれぞれの部会で「ボッチャ」競技を体験しました。パラリンピックの正式種目でもあるボッチャは大人から子供まで楽しめます。チームに分かれて競技をして大いに盛り上がりました。



ひまわり部会



フレミズ部会

◆フレッシュユミズ部会

フレミズ部会では、3月に部会長柳原さんと24区藤波さんが講師となりエコクラフトでかご作りを開催しました。



初めて体験する方もいて編み方には苦勞していましたが素敵なかごが出来上がりました。



◆女性部「役員、理事研修」

女性部では3月に新役員と理事で研修会を行いました。初めにホクレンくるるの杜のレストランで道産食材をふんだんに使ったバイキングで食事をして交流を深め、次に農産直売所を視察しました。全道各地の野菜や加工品など品数の豊富な直売所でした。次に、札幌青少年科学館で体験見学をしました。地球・雪と氷・環境・気象のエリアやサイエンス（科学）パーク、プラネタリウムなどがありました。皆さん学び体験することができました。特に気象や環境に関するエリアは農業にも関係することが学べました。



◆冬季健康講座

「からだの仕組みと塩の役割、我慢しない減塩」について

2月20日、部員25名参加で冬季健康講座を開催しました。りふれの管理栄養士小嶋さんによる講話と減塩調味料を使用した料理の講習を受けました。体の働きに一日に必要な塩分量のお話や塩を控えると料理の味が薄くなるがその分汁や香味のある物を利用するなど減塩方法について学びました。



4～5月の大豆栽培ポイント



1. 排水対策と土壌改良

(1) ほ場の排水改善

ほ場の透排水性の良否が大豆生育の良否に大きく影響しています。
排水路の清掃（排水路の滞水回避）、心土破砕、額縁明渠の施工等ほ場排水性改善が必須です。
ほ場条件によっては、暗渠排水の再整備、カットドレン等による補助暗渠の施工をしましょう。

(2) 土壌pHを確認し、pH6を目標に

pH確認をしていない場合は、早々に土壌を採取しpH確認しましょう。令和6年畑土壌の土壌診断結果では、基準（pH5.5～6.5）以下が3割程度あります。
特にpH5.5以下のほ場は、必ず炭カルなどでpH改善しましょう。

※ pH6矯正への炭カル施用量（kg/10a 改良深10cm）

測定値（pH）	5.0	5.2	5.4	5.6	5.8
砂壤土	169	135	102	68	34
壤土	251	202	150	101	48
埴壤土	337	270	202	135	67
埴土	424	338	255	169	83

※アレニウス氏表による酸性矯正用より（腐植程度：含むの場合）

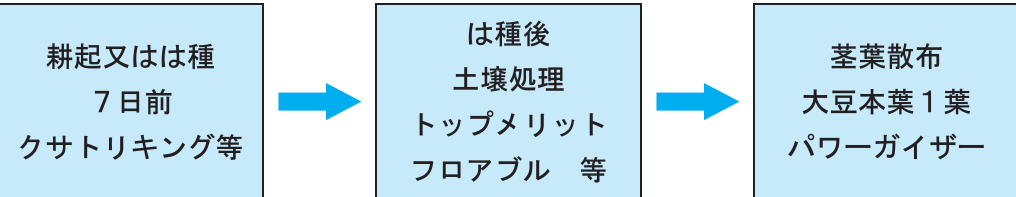
2. 雑草対策

雑草多発ほ場（雑草発生の場合）

耕起前に「クサトリキング」等の処理により雑草処理対策をしてください。

は種後、雑草発生前に土壌処理（除草剤散布）を実施しましょう。また、発芽揃い及び土壌処理剤効果向上へ、土塊は2cm以下の碎土を目指しましょう。

除草対策例



3. は種の準備

当地区の大豆において、令和5年は、8～9月の高温多雨等により腐敗が発生しました。特に、5月中旬は種した大豆では、腐敗豆が多発しました。

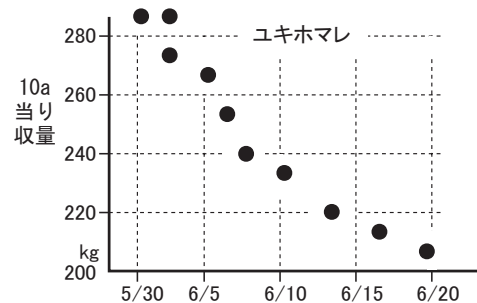
は種時期の目安を参考には種しましょう。ただし、は種時期が遅くなると着莢数の減少、豆の小粒化となり品質・収量が落ちます（右図）。水稻移植時期と重なる場合は、水稻移植を優先しましょう。

※ は種作業時期の目安

「ユキホマレ・とよまどか」は、腐敗粒発生抑制へ5月20日～6月5日まで
「トヨムスメ・ユキシズカ」等 5月20日～5月末

※ は種量の目安（10a当り）

トヨムスメ8～8.5kg ユキホマレ・とよまどか7～7.5kg ユキシズカ3kg



4～5月上旬の水稲栽培ポイント



育苗

1. 床土の準備と施肥

適正pH 4.5～5.0に調整

成苗ポット置床施肥は、土壌診断でリン酸・加里が高い場合、硫酸（400g／坪）施用

2. 種子消毒と種子浸種

未消毒種子粉は、テクリードCフロアブル（200倍液 24時間浸漬）

種子浸種温度が目標温度より高いと、浸種中に発芽が始まり催芽が不揃いになります。

浸種水量は、種粉1：水2（例 種粉100kgに対し、水400ℓ）

直射日光を避け種子浸種水温は、11～12℃

浸種日数は、平年は5～6日ですが、令和6年産は高温登熟年となったので、7～9日程度とし、水交換は、2～3日1回程度静かに交換しましょう。

●循環式催芽機による催芽では、

褐条病予防に食酢（穀物酢 酸度4.2%）50倍液で催芽時処理が必須です。

3. 出芽障害や出芽後生育不良の対策

播種後天候が悪く出芽障害や生育不良の時は、育苗液肥をかん注しても、根の発育が悪いことが多く効果が低いので、タチガレースM液剤またはタチガレン液剤1000倍液（500～1000ml／箱（枠））かん注し発根促進を図る。

生育状況によりヨーヒK22の500倍液にヨーヒP12の500倍液を混用して、2日間隔で2回葉面散布する。

（薬害防止のため）①午後3時以降に処理 ②二度掛けは厳禁

《晴天時はヤケに要注意》

日中の高温時（11～14時頃）に土が乾燥し、地温が上昇してきたら、シルバーポリを一旦はがして散水し地温を下げましょう。

※ 置き床地温が35℃以上になったら危険信号！

晴れた日は地温の上昇程度をこまめに確認しましょう。

- 「芽」の致死温度：42～44℃以上
- 「根」の致死温度と時間：43℃（20～30分）：49℃（1分）

4. 移植日を起点としたは種時期

「ななつぼし」「ゆめぴりか」等の育苗期間は30～35日

移植日から計算して、は種日を決定しましょう。

例）移植日5/20（予定）場合 → は種日4/15～20

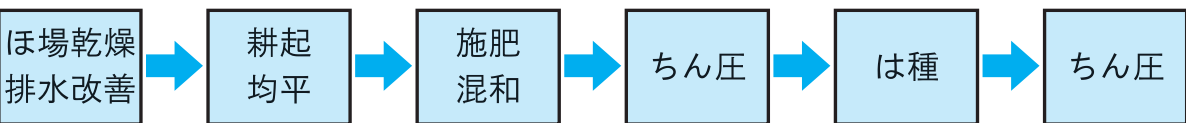
◎乾田直播栽培のほ場準備

ほ場の排水改善と乾燥促進と均平化

ほ場の排水および乾田化の良否がは種時期に大きく影響しています。

安定した出芽へ、ほ場均平は必須です。

作業体系



※ 詳細は、令和7年度栽培基準 11～ページを参照

土壌分析診断を活用した適正施肥の推進について

農業所得の拡大に向けてコスト削減の取組みが注目されている中で、効率的な施肥対応が重要となっています。

このことから土壌診断を活用した適正施肥の推進を下記のとおり実施いたしますのでご案内申し上げます。

1 目的

営農コスト削減に向けては効率的な施肥対応が必要であり、土壌における必要成分の把握により過剰施肥の低減などから肥料コストの低減、品質・収量の向上が図られます。このことから、土壌分析診断を活用した適正施肥を推進し、生産コストの低減と農業者所得の向上を図ることを目的に実施します。

2 期間 令和7年度の1年間

3 実施方法

- 土壌分析試料を土壌診断試料サンプル袋に入れ、営農資材課へ提出してください。
※土壌分析試料サンプル袋は、北長沼支所、営農資材課、舞鶴事業所でお取り寄せ下さい。
- 「ホクレンくみあい土壌分析センター」で実施します。（診断結果は、申し込みからおよそ1カ月）
※混雑状況により診断結果がでるまでに、およそ2～3カ月以上かかる場合もありますのでお早めに提出されますよう、お願いいたします。
- 対象作物：水稻、畑作、野菜・花き（露地・ハウス）等
- 基本分析費用 2,000円／1点（税別）

4 助成内容 一戸当たり（正組合員）年間10点を上限に基本分析費用を助成

5 問い合わせ先 営農企画課 TEL 88-2226 営農資材課 TEL 88-2407

◇◇ 農業後継者進学資金助成制度 ◇◇

農業後継予定者の進学資金の利息負担を助成いたします

ながめま農協独自の農業後継者確保対策として、**就農見込みのある農家子弟の進学**に必要な資金の借入に対する利子助成対策を講じ、後継者の確保と経営負担の軽減を図ることを目的として行っております。

農協で手続きされた国の教育ローン及び農協教育ローンの借入を行った組合員及びその家族が助成対象者です。

	国の教育ローン	農協の教育ローン
利子助成対象	就農予定の農家子弟に対する借入金	
助成対象資金融資限度額	200万円以内	
助成利率	設定金利相当（無利息）	
助成期間	5年間（60ヶ月）限度	

お問い合わせは、営農部 営農企画課へ TEL 88-2226（直通）

4～5月上旬の

秋小麦栽培

ポイント



1. 排水改善

今年の融雪期は平年並からやや遅いです。ほ場乾燥が遅れたり、停滞水があると湿害により生育障害がでます。額縁明渠や心土破碎を実施しましょう。

2. 起生期茎数に応じた追肥窒素施用量

起生期茎数を確認し、1000本／㎡以上のほ場では、特に施肥時期・窒素施用量に注意！（kg/10a）

品 種	起生期茎数 （本／㎡）	追肥時期と窒素施用量（kg/10a）				合 計
		起生期 4月上旬	幼穂形成期 5月上旬	止葉期 5月下旬	開花期 6月上旬	
きたほなみ	1400以上	0	2～4	4	（2）	6～8 （8～10）
	1000以上	0	6	4	（2）	10 （12）
	800～1000	2	4	4	（2）	10 （12）
	800以下	6	4	4	（2）	14 （16）
ゆめちから	1300以上	4月中旬 6	3～6 （※）	4～6	（2）	13～18 （15～20）
	1300未満	4月上旬 9	0～3	6	（2）	15～18 （17～20）

※「きたほなみ」は起生期2週間～幼穂形成期にかけて葉色の低下が急激に見られる時は、その時点で追肥する。

※幼穂形成期追肥は植物調節剤の処理を考慮する。

平年の生育期節

起生期 3／30 幼穂形成期 4／27 止葉期 5／21

㎡当り茎数算出方法

条播（ドリル） 50cmの茎数×2倍×100cm÷条間（cm） 例 80本×2×100÷15＝1066

散播（ばらまき） 33cm×30.3cm四角内の茎数×10倍 例 90本×10＝900

3. 雑草対策

●イネ科雑草（スズメノカタビラ等）に対する除草剤

トレファノサイド乳剤（200～300ml／10a）4月上旬（処理は早いほど効果高い）

●広葉雑草に対する除草剤

◎低温時（5℃以下は避ける）

※ エコパートフロアブルとハーモニー75DF水和剤の使い分け

○ギシギシが無い → エコパートフロアブル（50～75ml／10a）

○ギシギシ、ミチヤナギが有る → ハーモニー75DF水和剤（7.5～10g／10a）

※ エコパート及びハーモニーは、越冬した大型広葉雑草には効果が劣る。

◎20℃以上の好天日を見計らって処理する。

※ MCPソーダ塩（300g／10a 収穫45日前）

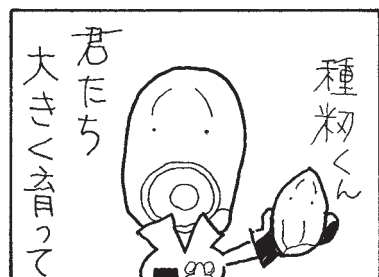
幼穂形成期（5月上旬）以降に使用、雑草が大きくないうちに散布する。

※ バサグラン液剤（100～150ml／10a 雑草の3～6葉期 収穫45日前）

※ 除草剤使用後のタンク等は洗浄処理する。

4. 倒伏防止（主な植物成長調整剤）

サイコセルPRO 幼穂形成期 150～200ml／10a（1回）



園芸蔬菜課 事務所の 移転について

園芸蔬菜課職員の事務所を本所事務所から野菜集荷場に移転いたします。

移転時期は4月14日(月)より

お問い合わせ 野菜集荷場 Tel 88-0721
または各担当の携帯電話へ

JA女性組織の活動に! おうち時間の充実に!

年6回は別冊付録付き

健康・料理・園芸など
生活に役立つ知識が詰まってる!

家光
定価(税込)
●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
●家計簿付き12月号 1,027円

お申し込みは

営農企画課 ☎88-2232



地域農業の担い手、
JA青年組織盟友を
応援する雑誌



年2回の別冊付録は一つのテーマを
掘り下げ、わかりやすく解説

お問い合わせ 営農企画課 Tel 88-2232

JAながめま担い手支援事業のご案内

意欲ある担い手(正組合員農家)が、効率的かつ安定的な経営を行うため、JAながめま担い手支援事業と、長沼町ががんばる農家支援事業とが一体となり支援を行います。

<対象者> **ながめま農協正組合員**

<実施期間> **令和5年～7年度 3ヶ年**

<受付期間> **令和7年4月1日～令和7年8月29日(10月末日までに納品完了)**

<助成日> **年1回12月下旬支払い**

<助成要件> **※面積要件については営農計画書等にて確認いたします。**

園芸用ハウス導入助成事業 園芸作物ブランド化支援事業	・園芸作物の新規作付または作付拡大(10%以上) ・土壌診断の実施
施設園芸作物省力化支援事業	・園芸作物の作付維持以上または新規作付 ・土壌診断の実施
スマート農業支援事業	・アシストスーツ、ドローン免許等の新規取得

<主な内容>

【園芸用ハウス導入助成事業】

園芸用パイプハウスと一体的に使用する備品・資材。
(パイプハウス、遮光ネット、換気扇、ボイラー、灌水設備 等)
※ 導入する園芸用パイプハウス(新品)は1棟単位で設置すること。
※ ハウスの単純更新、格納庫等に使用するハウスは対象外とする。



【園芸作物ブランド化支援事業】

野菜移植機・野菜は種機(セルトレー)・散水機(園芸用ハウスの灌水設備は対象外)
発芽器・ハウス防除機・貯水タンク(施設園芸用のみ)

【施設園芸作物省力化支援事業】

園芸用ハウス自動灌水装置・ハウス自動巻上げ機



【スマート農業支援事業】

アシストスーツ・ドローン免許等

<助成率、回数>

園芸用ハウス導入助成事業 園芸作物ブランド化支援事業	JA (上限)	長沼町 (参考)	合計 (上限)	助成回数 (R5～R7)
新規(事業費の20%)	40万円	40万円	80万円	いずれか1回
拡大(事業費の15%)	30万円	30万円	60万円	
施設園芸作物省力化支援事業	JA (上限)	長沼町 (参考)	合計 (上限)	助成回数 (R5～R7)
新規・維持以上(事業費の15%)	10万円	10万円	20万円	1回
スマート農業支援事業	JA (上限)	長沼町 (参考)	合計 (上限)	助成回数 (R5～R7)
新規取得(事業費の20%)	5万円	5万円	10万円	1回

※千円未満は切り捨て、消費税は対象外

事業参加希望者は、営農企画課までお問い合わせ願います。

お問い合わせ 営農部 営農企画課 TEL 88-2226

理事会報告 - 第2・3回 -

《令和7年3月13日開催》

[議案]

- 第1号 令和7年度㈱FAMO長沼事業計画について
- 第2号 令和7年度 事業計画について
- 第3号 信用の供与等の決定について
- 第4号 令和7年度販売手数料の設定について
- 第5号 令和7年度固定資産の発注について
- 第6号 総代会の開催及び提出議案について
- 第7号 農業振興計画並びに農協経営中期刷新計画について

[報告事項]

1. 行事報告事項(各委員会)について
2. 労働保険事務組合の令和6年度徴収・納付状況について
3. 資材事業予約購買の取進めについて
4. その他

《令和7年3月18日開催》

[議案]

- 第1号 決算自治監査講評について
- 第2号 令和6年度みのり監査法人に係る監査報告について
- 第3号 令和6年度決算書類の承認について
- 第4号 通常総代会の招集について
- 第5号 「職員就業規則」「準職員就業規則」「人事規程」「給与規程」の改正について
- 第6号 「育児および介護休業規程」の改正について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 組合員の加入及び脱退の状況について
3. 総体的なリスク量管理について
4. その他

以上、すべての議案について審議し原案どおり承認されました。

今月の組合員数 (前月比)

組合員 1,500名(+4)
正組合員 778名(±0)
准組合員 722名(+4)
正組合員戸数 591戸(±0)

農協の動き 2/26~3/18

2月

26日	米の生産の目安に係る生産者会議	於 農 協
26日	空知管内農協組合長会議	於 岩見沢市
26~28日	第4四半期自治監査	於 農 協
27日	グリーンツーリズム総会	於 りふれ
28日	FAMO長沼退職辞令交付	於 農 協
28日	甜菜振興協議会総会	於 農 協

3月

4日	MOREベジット設立総会	於 農 協
4~5日	令和7年コメ新市場開拓等促進事業受付	於 長 沼 町
6日	営農委員会	於 農 協
6日	総務経済対策委員会	於 農 協
7日	長沼町養豚協会定期総会	於 農 協
12日	水稻施肥相談会	於 農 協
12~14日	年金友の会道内旅行(温泉湯治)	於 登別万世閣
13日	子会社経営協議会	於 農 協
13日	理事会	於 農 協
13日	監事会	於 農 協
14日	連合会臨時総会	於 札 幌 市
14日	子実とうもろこし研究会総会	於 農 協
18日	理事会	於 農 協



●お申し込みは JA へ

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
www.nogyo-shimbun.ne.jp

紙面を刷新・さらに充実
役立つ・楽しい・読みやすい!!



JA だより ながめま
2025. 4月号 No. 374

〒069-1393 夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号
発行/ながめま農協同組合 営農部営農企画課
TEL/0123-88-2226 FAX/0123-88-4113
URL/http://www.ja-naganuma.or.jp